

JICA兵庫シニアOV会 会報

第56号

2025年12月2日発行

今年は暑い夏が長く続き、11月後半になり突然寒くなり、秋がない気候となりました。またインフルエンザ感染者が急増するなど、体調管理がしづらくなっていますが、会員の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

そんな中、前号（第55号2025年5月31日発行）以降の活動の実施状況をお知らせします。御一読下さい。

— 内容 —

- 1. 2025秋季総会
- 2. 活動報告
- 3. シニアOV会ホームページ
- 4. 会員便り

1. 2025秋季総会 (議事録から抜粋)

開催日時：2025年10月25日（土）

午後2時～5時

開催場所：JICA関西センター2階
ブリーフィングルーム

出席者：21名

司会：石坂副会長

(1) 開会

(2) 会長挨拶

2-1. 2004年3月発足して47回目の

(総会後の集合写真)

総会となり、来賓としてJICA関西の
浅田さんにお越しいただいた。



2025/10/25

2-2. 最近帰国された4名の方から報告をいただいた。

2-3. 2025年度の活動報告とともにOV会のホームページについても報告致します。

2-4. 在留外国人への誹謗中傷が増えているが、OV会としては国際理解、多文化共生に向けて諒々と進めたい。

(3) 来賓挨拶

ご来賓のJICA関西 市民参加協力課 浅田瑠理さんより、挨拶と自己紹介を頂いた。

3-1. JICA海外協力隊の派遣実績は右表の通りです。

2025年春募集結果は、合格者1087名（兵庫17名）、シニア45名（兵庫3名）であった。募集説明の際のアンケートでは70%が行きたいと回答した。

3-2. JICAとして人材交流と多文化共生に力を入れており、神戸モデル（高度人材プロジェクト）として留学生を受け入れ、産官学でサポートしている。

3-3. 多文化共生の教育促進のため、OV会には出前講座の講師をお願いしたい。

	2025年	累計
	9月末	
全体	1,790	58,001
近畿地方	313	8,664
兵庫県	89	2,550

(4) 帰国報告

4-1. 大塚 真理子（おおつか まりこ）さん（ブラジル、日本語教育）

赴任先の日本語教師は、日系の各種行事に追われ多忙で、本来やるべき活動が後回しになった。ブラジルの日系社会は、

昔の日本（昭和時代）+今の日本（出稼ぎの方がコロナで帰国）+異文化 が混じった社会で、日本語教育も複雑である。

4-2. 福崎 聖子（ふくざき きよこ）さん（ベトナム、言語聴覚士）

療法士、言語聴覚士の資格制度のないベトナムで体系的に学んでいない人への教育・指導を通じて知識・技術の移転の難しさを感じた。各種様式の作成、導入により結果を記載しやすくした。

4-3. 斎藤 亨（さいとう とおる）さん（ブータン、体育）

大学でスクールスポーツインストラクター（SSI）を目指す学生に教えてきた。SSIを目指すひとは、90年代から続くJOCVの活動に影響を受けた人が多い。

4-4. 森脇 洋子（もりわき ようこ）さん（アルゼンチン、料理）

日本料理と生活習慣病についての冊子を日本語とスペイン語で作ったが、帰国前までバタバタと大変だった。落ち着いたら日本でも、高齢者を対象に「簡単、健康料理教室」を行いたいと考えている。

(5) 2025年度の事業報告と今後の予定 (本項は2. 項でもう少し詳しく記す。)

5-1. 全体（本部主体）の活動計画と結果

村原会長が、「2025年度事業計画と今後の予定」を説明された。活動計画表の15件中12件が完了し、3件が未了。①神戸国際交流フェアでは約800名の来場があり、OV会としてはステージイベント/綿菓子/うちわ作り/写真展を行った。②初めて帰国報告会を開催し、一般の人13名を含めて30名の参加があった。③JICA関西秋祭りのブースでおりがみ/うちわ/輪投げ/写真展を実施。

2025年度 活動計画表

番号	日 程	活動名	場 所	担当地区
1	5月24日	神戸国際交流フェア	JICA関西	本部
2	6月8日	佐用町国際理解講座講師派遣	さよう文化情報センター	西地区
3	6月17日	高砂市松陽学園講師派遣	高砂市高齢者大学松陽学園	西地区
4	7月18日	加古川市野口公民館講師派遣	加古川市野口公民館	西地区
5	8月17日	JICA兵庫シニアOV会帰国報告会	JICA関西	本部
6	8月24日	赤穂市国際理解講座+ミニ写真展	赤穂市立図書館	西地区
7	9月6日	土曜ティーサロン講演会講師派遣	神戸学生青年センター	神戸地区
8	9/8, 9/9, 9/12, 10/2	いなみ野学園講師派遣	兵庫県いなみ野学園	西地区
9	9月20日	JICA 関西秋祭り出店	JICA関西	本部
10	9月24~27日	六甲道写真展	神戸市灘区文化センター	神戸地区
11	10月4日	加古川市国際協力理解セミナー2025	カビル21ビル市民交流広場	西地区
12	10月5日	宝塚国際理解講演会	宝塚市西公民館	東地区
13	11月27日	三木市高齢者大学大学院講師派遣	三木市高齢者大学	西地区
14	12月8日	阪神シニアカレッジ講師派遣	兵庫県阪神シニアカレッジ	東地区
15	2026年2月7日	土曜ティーサロン講演会講師派遣	神戸学生青年センター	神戸地区

(注： 3, 8, 13, 14 は学園での講演で関係者のみ参加)

5-2. 西地区の活動計画（富永地区長）

富永地区長が、「2025年度西区の活動報告」を説明された。今年は姫路市と明石市での講演会がなかった。①赤穂市国際理解講座には27名が参加。②加古川市国際協力理解セミナーには29名が参加。③各学園へ講演者を派遣（いなみの学園、松陽学園、野口公民館）。

5-3. 神戸地区の活動計画（川並地区長）

川並地区長が、「2025年活動報告神戸地区」を説明された。①土曜ティーサロンで小林副会長がスペイン巡礼の旅について講演。②六甲道写真展では60枚の写真を展示了。③2026年2月土曜ティーサロンを開催予定。「六甲道写真展」開催のための写真提供をお願いした。

5-4. 東地区の活動計画（奥野地区長）

奥野地区長が、「2025年活動報告東地区」を説明された。①宝塚国際理解講演会では、宝塚市国際交流協会の会員280名にチラシを郵送したが、期待より参加者が少なく、今後の課題。②2026年度は西宮市で講演会を開催したい。

(6) シニアOV会ホームページについて (本項は3. 項でもう少し詳しく記す。)

奥野地区長から、昨年から行ってきたOV会のホームページ改訂の現状を説明され、初めての方でも、簡単に投稿ができる仕組みを提案された。まだ投稿経験がないと思われる方、および新会員に、11月中にIDとパスワードを送付する。

(7) その他

村原会長から下記の提案があった。

7-1. 現在は、本部役員7名、地区長3名の体制であるが、退任希望もあり候補者があれば手を上げて欲しい。

7-2. 地区長は1人で、会場の抽選・設定/チラシ作りと多くの負担があり、手助けできる人材として「副地区長」のポジションを作りたい。

(8) 意見交換・その他

特段の意見・質問がなく、出席者の拍手で各議事・報告・計画を承認した。

総会後、懇親会が開催され19名の参加で、和気あいあいと懇親を深めた。

2. 活動報告

(番号1) 神戸国際交流フェア 会報55号で報告済み

(番号5) JICA兵庫OV会帰国報告

日時 : 8月17日 13:30~17:00
場所 : JICA関西センター2階ブリーフィングルーム



(パンフレット)



(会場風景)

報告者 :

大塚真理子さん 日本語教育
(ブラジル)

片山徹也さん 小学校教育
(カメルーン)

山本真弓さん 数学教育
(グアテマラ)



結果 : 本帰国報告会は初開催で一般の聴衆もあり、来年以降も継続開催予定。

(番号 6) 赤穂市国際理解講座

講演会 : 2025年8月24日(日) 13時30分～16時15分

場 所 : 赤穂市立図書館2階 視聴覚室 (+ ミニ写真展)

講 師 : 高澤道夫さん「カンボジア職業訓練校での活動」

長田 守 さん 「防弾車の窓越しに見たアフガニスタンとその後」

主 催 : 赤穂市国際交流協会、後援: JICA関西、JICA兵庫シニアOV会

ミニ写真展: 二人の講師が撮影した18枚の写真を展示した。(シニアOV会 担当)

参加者数 : 27名

注: 講師の交通費と謝金は、赤穂市国際交流協会が例年どおり支給した。

(番号 9) JICA関西秋祭り

日時 : 9月20日

場所 : JICA関西 2F講堂



(JICA関西秋祭り風景)



(左上：輪投げ、 左下左：折り紙、左下右：写真展、 右：団扇つくり)

(番号 10) 六甲道トーク & 写真展

日時 : 9月24日～27日
9:00～16:00

場所 : 灘区文化センター

(JR六甲道南側隣接)

テーマ：「世界各地でのJICAボランティアの活動」

---最近の帰国隊員を中心とした写真展示、

ウガンダ特集 ---



川並浩司 ウガンダ 体育授業…手作りハードルで指導



川並浩司 ネパール ナマステ!!! …はにかみながら挨拶

(番号11) 加古川市国際協力理解セミナー

講演会：2025年10月4日(土) 14時～16時

場所：カピル21ビル(ヤマトヤシキ)市民交流広場5階 会議室2

講演者と演題：(講演25分、質疑応答5分)

① 講師：森本正悟さん 職種 レスリング

② 講師：森脇陽子さん 職種 料理

③ JICAボランティアの応募説明(JOCA) 鈴木俊章さん

参加者数：29名、ボランティア参加希望者3名。

共催：(公財)加古川市国際交流協会、JICA兵庫シニアOV会

後援：JICA関西



(番号12) 宝塚国際理解講演会

講演日時・場所

(加古川市国際協力セミナー会場風景)

日時：10月5日(日) 14:00-16:00

場所：宝塚市西公民館セミナー室

テーマ&講演者：

14:00-14:10 1. JICA海外協力隊の概要 奥野さん

14:15-15:05 2. 野生動物とダイヤモンドの国でのボランティア
ボツワナ 高地さん

15:10-16:00 3. 野生動物だけじゃない本当のマダガスカル
マダガスカル 豊瀬さん

ミニ写真展 同会場にて、アフリカ、アジア、中南米、オセアニアより

14枚の写真を、世界地図とともに展示

実施した感想

- 派遣者2名による現地の実情および活動内容の講演、およびボランティアが撮影した途上国の写真展示により、市民の方々への国際理解の推進は、予定通り実施し、成果をあげることができた。二つの講演とも、途中席を立たれる方も皆無で、熱心に聞かれ、積極的に参加していただけた。
- 初めに協力隊の概要説明を行い、続いて講演による活動の紹介により、活動の具体的イメージを持ってもらえたが、その中でお二人とも、**協力隊への応募のきっかけ、理由もお話しされたことで、応募のイメージも持つてもらうことができた**。また、最後に知人・親戚に対してもお伝えいただきたいとお願した。

- なお、終了後に次回の開催希望として、アフリカでの医療関係、中南米での日本語教育という具体的な声が上がっていて、協力隊について理解されていた。その他、中国やどこでも知りたいという声もあった。

今回初めて、チラシを宝塚市国際交流協会の会員280名の自宅に送付してもらった。

ただ、それによる当日の出席者数は期待より少なく、これは協会からの送付タイミングや、OV会の名称の浸透度も影響しているかも知れない

まずは会員全員に、協力隊の意義も紹介しているチラシを周知できたことは有意義だったと思うし、参加者からの口コミの広がりも期待したい。

来年に向けて

- 西宮で実施したい(帰国会員が増えてきた)
- 初めての方も、より参加したくなるチラシの検討



(番号3, 4, 8, 7) 講師派遣

(1) 西地区

(1)いなみの学園 :

1学年～4学年の講演会に、4人の講師を派遣。

(2)高砂市 松陽学園 :

2学年～4学年の講演会に、3人の講師を派遣する。

(3)加古川市 野口公民館:

7月に鈴木さんを人派遣した。

- 毎年JICAシニアOV会会員の講演者と演題を明記したリストを提出し、

各学園の担当者が そのリストの中から講演者を選んでいた

ことになった。

講演者が3～4年毎に交代するように、人選して戴く予定。

- 各学園とも、講演で紹介する国が世界各地に分散する様に、また男性・女性の講師が平等に話す機会があるように、講演者を選定される予定です。

以上

(2) 神戸地区

土曜ティーサロンでの講演会

日時：9月6日（土）14：00 – 15：00

場所：神戸学生青年センター

演題：「スペイン巡礼の旅（フランス人の道）」

講師：小林憲昭氏

3. シニアOV会ホームページ

昨年までの活動

- ・従来のHPから、仕組み的には誰もが投稿できるプラットフォームへの移行が完了した
- ・特に、尾崎さんと本庄さんの大変なご貢献により、役員および何名かのコアの利用者が確保されました。

これから

会員相互のコミュニケーションおよび、外部への情報発信という社会還元が行える会員の共有資産を、より多くの会員に知ってもらい、活用してもらう。

1. OV会のHPを知らない会員、および総会に参加されていない会員にHP(の存在)をまずは知ってもらう。ログインしなくとも参照は可能であること。
2. その中で、興味のある会員は、ログインすれば、まずは、活動メンバー紹介に投稿することができること、投稿が難しくないことを知ってもらう。

具体的に、下記をメールでお知らせする

1. ホームページの紹介(簡潔に) [YouTube](#)
2. 初めての方でも、簡単に投稿ができる仕組みを、対象会員ごとに準備する
その仕組みの利用についてのガイドを作成する [YouTube](#)
- ・対象は、まだ投稿経験がないと思われる方、および新会員
- ・11月中には、対象全員に発信したい

4. 会員便り

今回は投稿なし。

編集後記

総会を中心に活動状況をとりまとめました。不足な点などお気づきのことがあれば是非お知らせ下さい。

また、JICAの活動と関係なくとも、現在どの様な活動をされているのか原稿を常時募集しています。広報担当までお寄せ下さい。

ホームページへの会員からの投稿ができる様になり、さらに、会員相互の交流の場も検討しております。会員皆様からの投稿を期待しています。

ホームページ：JICA兵庫シニアOV会 (<http://jhso.daa.jp/wp/>)

メールアドレス： mail@jhso.org

広報担当Eメール： kobayashi.noriaki23@gmail.com